

このメディアに含まれるデータ（自然環境情報GIS）について
平成17年7月
環境省自然環境局 生物多様性センター 情報システム科

1. はじめに

自然環境情報GISは、環境省生物多様性センターで実施している自然環境保全基礎調査（以下、「基礎調査」）の成果のうち、自然環境に係る地理情報を地理情報システム（GIS）で利用しやすいようにまとめた電子データのセットです。

今回一般提供されるデータは、平成11年3月に試用版として作成した自然環境情報GIS第二版を元に、平成14年4月の測量法施行令の一部改正に伴う世界測地系への変換等を行ったものです。詳しくは「4. その他（2）自然環境情報GISの更新履歴」をご覧ください。

2. データ内容について

（1）ファイルの種類と形式

図形ファイル（ベクタデータ）：shp形式。「.shp」「.shx」「.dbf」の三種類で1セットとなります（なお「.prj」ファイルは、米国ESRI社製ArcGISにおいてシェープファイルの座標系等を読み込むためのファイルです）。

属性ファイル（各図形ファイルの詳細な属性データ）：各種表計算ソフト、データベースソフトなどで利用可能なcsv形式。ただし一部のファイルはデータ量が多いため一般的な表計算ソフトではご利用頂けない場合もあります。

属性補助ファイル（植生自然度など、上記属性ファイルの中の項目の詳細な説明）：属性ファイルと同じcsv形式。

凡例ファイル：米国ESRI社製ArcGIS Ver. 8において、凡例を作成するためのレイヤーファイル（lyr形式）

（2）座標系

世界測地系（日本測地系2000）に基づく10進経緯度座標系で作成されています。

（3）位置情報の精度

各情報の位置精度は、調査・地域・時期によって異なるため、複数のデータを重ね合わせた場合に境界線等が一致しないことがあります。

（4）情報の時間精度

調査成果の情報は、調査実施時点、または図面作成時点のものであり、現状とは異なる場合があります。

（5）文字コード

日本語の文字コードはSJISを使用しています。

3. データ利用上の注意

（1）著作権と引用等の手続きについて

本データセットの著作権は環境省にあります。このデータを引用・利用・複製・提供される場合には、手続きが必要になります。

生物多様性情報システム（略称J-IBIS）にある下記ページをご参照のうえ、必要な手続きをお取り下さい。

「データの利用・複製の手続きについて」<http://www.biodic.go.jp/kiso/gisddl/steps.html>

（2）図形ファイルと属性ファイルの結合について

本データセットの図形ファイル（shp形式）の属性には、識別コード等が入力されています。各識別コードの内容（群落名など）は、属性ファイル（csv形式）に記載されていますので、これらをご参照下さい。

（3）基礎調査の内容について

各データは、基礎調査の調査票や図面のデータを電子化したものです。基礎調査の内容（調査項目、調査方法など）を詳しくお知りになりたい場合は、生物多様性情報システム（J-IBIS）で公開されている報告書をご覧ください。

<http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html>

（4）本データセットに関する問い合わせ先

環境省 自然環境局 生物多様性センター 情報システム科

403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1

Tel:0555-72-6031

Fax:0555-72-6035

ホームページ：<http://www.biodic.go.jp/>

E-mail：webmaster@biodic.go.jp

4. 参考

（1）J-IBIS上の動植物分布調査（種の多様性調査）等の分布情報の表示方法

現在、J-IBIS上では動植物分布調査（種の多様性調査）および身近な生きもの調査の動植物分布情報を公開しておりますが、現在、ダウンロードは表形式（csv形式）のみとなっております。このcsvファイルを、[mesh]フォルダの全国2次メッシュファイル（mesh2.shp）と2次メッシュコードで結合させると、GIS上で分布図が表示できます。

（2）自然環境情報GISの更新履歴

平成9年3月 第一版：第4回自然環境保全基礎調査までの成果を収録。

平成11年3月 第二版：第5回自然環境保全基礎調査までの成果を収録。

平成16年3月 第二版データの修正：世界測地系への対応、ArcGIS Ver. 8への対応、データ形式等の変更、第2-5回植生調査成果重ね合わせデータの追加などを実施。

平成17年7月 第二版修正データの一般公開開始

以上